



9月22・23日(日・祝)天城高原に遊びに行きました。1日目は、夕方からバーベキューを楽しみ、2日目、天城山に登る予定でした。ところが、両日とも天候にあまり恵まれず、バーベキューはなんとかできましたが、天城山は中止となってしまいました。でも、今回の目的は“みんなで小野さんの別荘に泊まる”ことにありましたから、みんな大満足です。雨の中、小野さんの別荘に着いた時には、みんなの頭の中から「天城山に登る」ことは、薄らいでいきました。

今回の参加者は、加藤忠さん、加藤純代さん、宮部忠和さん、宮部香与子さん、横山和明さん、町田行弘、そして、別荘に迎えてくれた小野勝彦さん、奥さんの年子さんです。

WTR CLUBでは初めての1泊旅行。移動手段も初めて車を利用した旅行です。



話は「岩殿山」の打ち上げから

“小野さんの伊豆の別荘に泊まりたい”7月14日(日)「岩殿山」の打ち上げの時に持ち上がりました。話はどんどん具体化していき、日程・参加者・車の配車までが決定します。その後、小野さんが作成してくれた、資料(別荘の所在地・車での方・行き方・食事・温泉など)に基づいて、9月22・23日(日・祝)の計画をたてました。

当初の予定では、参加者は、加藤忠さん、加藤純代さん、宮部忠和さん、宮部香与子さん、河合稔さん、横山和明さん、町田行弘、町田麻樹。車は3台で宮部さんの車に宮部夫妻、河合さんの車に加藤夫妻と横山さん、町田の車に町田夫妻でした。ところが、河合さんが手をケガしたため、町田麻樹が家族との旅行のため参加できなくなりました。車は2台に変更、そして、橋本駅ロータリーに9時集合して一緒に天城高原を目指すこととなりました。

129に乗らずに小田厚に乗る

天気予報では9月22日(日)から下り坂、23日(祝)は雨。9月22日(日)朝9時、橋本駅北口ロータリーに集合します。加藤夫妻と横山さんは電車で到着します。宮部さんの車に宮部夫妻と加藤純代さんが乗ります。町田の車に加藤忠さんと横山さんが乗り出発。

町田が、選んだコースは、小田原厚木道路 箱根新道 国道1号線で三島の「柿田川湧水群」を見て、修善寺から冷川に出て、伊豆スカイラインで天城高原の小野さんの別荘へとうものです。この日は、世間では3連休なので、当然道路の混雑が予想されました。問題は、小田原厚木道路へ乗るまで。国道129号線は、東名厚木インターへのアクセスもあり、渋滞が予想されます。“129に乗らずに小田厚に乗る”これがポイント。

国道1号線の懐かしい風景

橋本駅ロータリーから町田街道方向へ向かい、VIVREの交差点を左折し、2つ目の信号を左に曲がります。横浜線の踏切を渡り、道なりに進み国道16号線を越えて、左手に「スーパー三和」のある交差点を左折します。直進すると国道129号線にぶつかります。右の角は「レストラン不二家」です。国道129号線をしばらく走ります。左に「セブンイレブン」右に「吉野家」のある交差点“田名新宿”で左折し突き当たったら右へ。1つ目の信号が“田尻”V字の左へ進みます。これが県道46号線





です。ひたすら走ると「座間警察署前」ここを右折します。(左折すると帰りのルートに走った県道51号線で相模大野に出ます。)“河原口”という交差点を右折し、小田急線と相模線を踏みきりで渡り、“中新田”交差点を右折し“東河内”で右折し、直進すると、小田原厚木道路の脇を走る国道271号線にぶつかりますから左折します。

ここまではすこぶる順調でした。伊勢原ICから小田厚に乗るはずだったのですが、入り口がわかりにくく通過してしまいました。次の平塚ICから乗ることができてホッとします。あとは、終点で降りて、箱根新道を利用して、国道1号線で三島の「柿田川湧水群」を目指すだけです。小田原厚木道路の終点で渋滞がありましたが、12時30分過ぎに「柿田川湧水群」に到着します。国道1号線では、懐かしい風景もありましたね(箱根旧街道)。

昼食は湧き水での料理

ここは、去年の10月28日、雨でも「沼津アルプス」を目指して集合した小野さん、関野さん、町田行弘・麻樹が、「沼津アルプス」をあきらめて、三島駅から散策した場所です。簡単には、富士山に降った雨や雪が地下水となり、ここに湧き出しているのです。しかも、1日100万トン。この湧き水が柿田川となり、狩野川に合流して海へ流れ込みます。

今回は飲み損ねた湧き水で喉を潤し、2ヶ所の湧き間を見物し、軽い昼食を摂ります。夕方からのバーベキューに備えて控え目に。

国道1号線を少し戻り、国道136号線で修善寺方向へ。修善寺駅入口で左折し、修善寺橋で狩野川を渡り、冷川ICから伊豆スカイラインの終点天城高原まで。ここからは、小野さんの案内にあった通りに走りますが、管理センターに着くと雨が降り出します。バーベキューできるのかな？管理センター内の地図で小野さんの別荘の番地を確認して無事到着。午後4時30分くらい。

素敵な別荘で乾杯！

駐車スペースから、階段を下ると別荘がありました。ドアを開けると、小野夫妻が準備して迎えてくれました。外は雨のせいもあり薄暗かったのですが、中は、ログハウス調の木の温もりを感じる素敵な宿でした。

早速、ビールやワインで乾杯をして、そのつまみにするために



バーベキューの準備をします。食材は小野夫妻が準備してあります。バーベキューコンロもテラスに用意されていて、炭を熾すだけです。何度か経験のある小野さんと町田でバーベキューコンロの用意をします。

別荘というのは、なかなか素敵ですね。山の中でのキャンプに似ている気がしました。どんなに便利でも、自分たちの用意したもので生活するわけですから。近くにコンビニなんてありません。自分たちでなんとかするわけです。実は、今回もワインのコルクを開ける道具が無かったのですが、ワインのコルクをボトルの中に押し込んで飲んだり、コーヒーを飲みたい時にフィルターが無くて、キッチンペーパーで代用したりしました。



酔いにまかせて「@ ㄱ 々 & = 」

乾杯している間に炭が落ちつき、いよいよバーベキューを始めます。肉はもちろんのこと、野菜、そして、秋の味覚秋刀魚なども…。とてもおいしく頂きながら、相撲の千秋楽が気になったり、加藤さんはジャイアンツ戦がとてもとても気がかりだったり…。そして、ついに、気になる小野夫妻のなれそめなんかに突入して行くわけです。

「# / / & * + ㄱ * ?」「全 @ * & #」「& * § =

ㄱ ?」「ㄱ 全 ㄱ ‡ @ 」@ § ㄱ ㄱ ~ # ?」「そうそう」「へえ～」

注意：この部分あえて具体的な文章にしています。記号のままです。

昔の事を話したり、聞いたりするとなんだか若返る気がしますね。

片づけをして、お風呂（温泉が出ます）に入る方、ふとんに入る方、まあ、それぞれ。明日に備えて早めの行動ですが、「天城山ハイキング」は誰の頭にもありません。外は雨。



大室山リフティング&ウォーキング

9月23日朝6時頃にはみんな起きます。すぐにふとんをあげて、別荘の片づけが始まります。そして、7時30分には朝食バイキングの東急ハーベストクラブ到着。ここで、和食・洋食なんでもありの朝食です。ゆっくり食事をします。



ここで温泉に入る予定でしたが、温泉は9時からで、宿泊客優先（当然かな）のため（？）1時間しか入れないとのこと。9時までは時間もあるので、出発することにしました。





火山特有の回りに大きな木々がない展望はすばらしく、今回は天城山より大室山のほうが楽しかったに違いありませんでした。火口ハイキングを終えて再びペアリフトで下山します。



まずは、大室山。リフトで登れるようですし、天城山の替わり、そして、昨年遊んだ「城ヶ崎海岸」を造った山です。大室山は、なんともかわいい形で、花札のぼうずみたいです。リフトで山頂へ行くことにします。リフトは2人乗りでそれぞれ夫婦が乗り、今回は独り者となった横山さんと町田がペアになりました。タイムマシーンのようなこのリフトでみんな若返りました。リフトで登りながら振り返ると海が見えてきます。登り切ってリフトを降りると火口がすぐそこ。雨水が溜まって池のようになっているかと思ったら、なんと芝生のアーチェリー場になっていました。火口の回りはハイキングコースになっていて、1周約40分とか。「せっかくだから歩きましょうよ」と切り出したのは小野さんの奥さんでした。



小野さん、楽しかったヨ！！

次は温泉です。伊豆高原駅近くの「高原の湯」を目指します。もと来た道へ戻り、東伊豆海岸方向へ進み、途中の“大島台入口”を右折し、桜並木を抜けて伊豆高原駅を目指します。伊豆高原駅に侵入する手前で右折し、国道135号線とぶつかったら左折してすぐでした。ここでのんびり温泉に浸かることにします。温泉出るとちょうどお昼時、同じ施設内の「うまいもん処」で昼食としました。看板メニューの「石焼き漁師めし」を食べます。食事が終わる頃から大粒の雨が降り出します。もう1箇所どこか(一碧湖あたり)と思っていたのですが、渋滞の心配もあるので、帰路につくことにしました。国道135号線で伊東を抜けて、真鶴道路を通り、小田原厚木道路を通って帰ることにしました。しかし、ちょっと不安だった真鶴道路はやはり大渋滞でした。この渋滞をクリアしてからはわりとすんなりと、玉川学園の小野宅へ。小野さん、そして、奥さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

